

平成 29 年 9 月 29 日

各 位

東京都港区虎ノ門四丁目 1 番 28 号
虎ノ門タワーズオフィス
フィンテック グローバル株式会社
代表取締役社長 玉 井 信 光
(コード番号：8789 東証マザーズ)
問合せ先：上席執行役員 千田 高
電 話 番 号 ： (0 3) 5 7 3 3 - 2 1 2 1

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

従来未定としておりました平成 29 年 9 月期の連結業績予想、配当予想について、下記の通り算定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成29年 9 月期連結業績予想（平成28年10月 1 日～平成29年 9 月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想 (B)	7,170	△1,185	△1,211	△1,221	△7.55
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (28 年 9 月期)	7,485	△1,031	△1,369	△1,384	△8.56

(公表の理由)

平成29年 9 月期第 3 四半期決算短信に記載のとおり、ファイナンスアレンジ案件やアセット投資の回収案件に取り組んでいることから、連結業績予想はこれらによる影響を見極めるため、未定とさせていただいておりましたが、期中にこれら案件の収益化にいたりませんでしたので、連結業績予想が可能であると判断し、上記のとおり算定いたしました。

なお、収益化にいたらなかったファイナンスアレンジ案件は、金利、外国為替の市場動向を注視しながら、今後も継続して取り組んで参ります。アセット投資回収は不動産証券化手法によって進めており、平成30年 9 月期第 1 四半期中の契約締結を見込んでおります。

(業績予想に関する説明)

上記の通り売上高は 7,170 百万円となり前期比で 315 百万円減少する見込みであります。売上総利益は 205 百万円増加して 1,701 百万円となる見込みです。営業損益は、海外市場上場株式等の減損処理による営業投資有価証券評価損 2.3 億円を見込み、またメツツアに関して開業準備のための人件費その他の先行投資として 5 億円が発生するなどのコスト増により、1,185 百万円の営業損失を見込んでおります。経常損失は 1,211 百万円、親会社株主に帰属す

る当期純損失は1,221百万円を見込んでおります。

なお、平成29年7月12日付「ムーミンバレーパークの用地譲渡、設備投資計画、資金の借入等及び子会社の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、当社はムーミンバレーパーク用地を特別目的会社である飯能地域資源利活用合同会社に20億円で譲渡しております。当該譲渡は、期初より売上計上すべく推進してきた案件でしたが、金融取引として会計処理し売上計上しておりません。これによる業績への影響は大きく、今回の大幅な損失予想の要因の一つとなりました。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、上記予想数値とは異なる可能性があります。

2. 平成29年9月期配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (平成28年11月14日発表)	—	円 銭 —	円 銭 —
今 回 発 表 予 想	—	0.00	0.00
当 期 実 績	0.00		
前 期 実 績 (平成28年9月期)	0.00	0.00	0.00

(公表の理由)

従来は、業績予想の算定に至っていないため、期末配当予想についても未定とし、業績予想を算定次第、決定することとしてきました。

業績予想は上記のとおり親会社株主に帰属する当期純損益が損失となり、配当原資である個別貸借対照表の利益剰余金のマイナス残高が解消しない見込みであることから、誠に遺憾ではございますが、期末配当を見送りとする方針としました。

以 上